

第78回長野県美術教育研究大会 南信ブロック大会 【保小接続】本時案

1 期日・園学校等 11月15日(金) 川岸小学校1年1部・2部 児童46名

川岸保育園年長28名 成田保育園年長18名 総合計92名

2 題材名 「つなげて ならべて 差し込んで 色カードの世界をつくってみようヨ！」

3 題材のねらい

○アルミとテープを使った造形活動を楽しんだ経験を生かして、色カードを並べたり・つなげたり・差し込んだりして思い思いの構成をつくりだしたり友だちと関わり合ったりしながら色カードの造形活動を楽しむことができる。

4 留意点

○1年生と年長を混合した9グループの構成で行う。異年齢交流や関係づくりを支援する。

○全体指導を美術考古館長が行い、配慮児童園児に各担任が入り、必要に応じて支援する。

5 展開

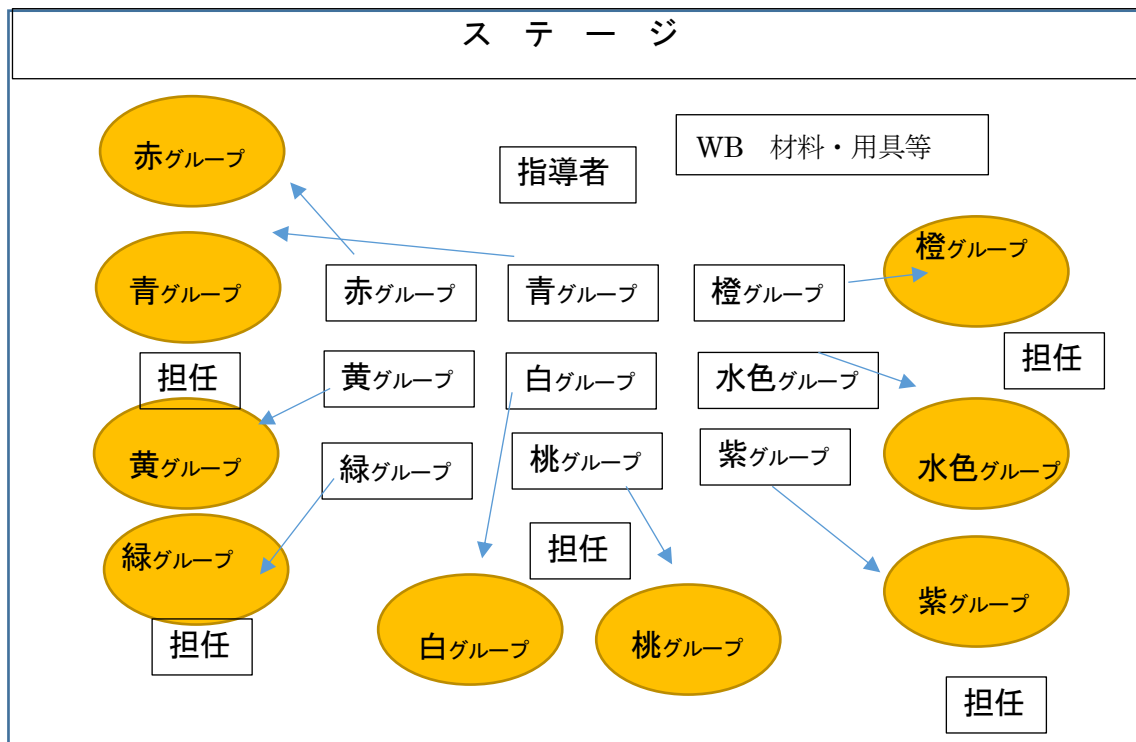
段階	活動	子どもの予想される姿・表現	指導・支援・評価等	時間
出会い	○グループで、色カードと出会う ○スリット入りの色画用紙と出会い、スリットを使う	①挨拶後、今日の活動を楽しみにする色カードをもらい、並べたり重ねたりするだろう。 ②スリットを探し、示範を見て、色々な場所に差しして面白さを見つけたり、差し込んで形づくりを楽しむだろう	・「挨拶」をする ○色カードを配り、本時の話をする ○スリット入りの色画用紙を配り、「差し込む」面白さを示範する。	5
思いを広げ楽しむ	○グループ別の活動場所に移り、色カードの世界づくりをはじめ ○友達と合わせた形や並べ方を工夫して異年齢で関わり合い学びあう	③スリットに色カードを差し込んだり、カードを並べたりして、思い思いの色の世界をつくるだろう。 ④友だちと並べたり、つなげ方を考え、関わり合いながらよさを感じる ・グループごとでつないだり、組み合わせたりする→つなげることを支援 ※配慮児は、必要に応じて個別支援を行う ※高所、危険な行為、けが等への配慮を行い、未然防止に努める。	◇色カードは床に並べても・差し込んでも良いことを伝え始める。 ○友だちと行う事を提案 【配慮】 ・各グループの近くに色カードや画用紙等を置く ・配慮児を支援する 色カードを並べたり、差し込んだりして自分の楽しみが見つけれられたか	35
温めあう	○できた色カードの世界を見合う ○「挨拶」で終わりにする	⑤お互いの色カードの世界を見合い、驚いたり、声をあげたりするだろう ・近くの先生に伝えたりするだろう ・楽しい思いを表すだろう ・次の交流を楽しみにするだろう	○「後5分」と早めに伝える ○「途中で終わる」だよ、友達のできたものを見てみよう ・グループで見合い楽しむ	5

6 その他

・色カードを並べたり、差し込んだりする場所（必要に応じて「吊るす」紐）を用意する。

・セロハンテープグループ1台を用意し、着けることも想定する。

7 会場計画 川岸小学校第1体育館



- 全体を9グループで構成する。(1年各クラス・各園年長の混合グループ)
- 授業の初めは、で並び、指導者からの話を聞き、色カード・差し込み色画用紙の話を聞く
- 差し込み活動の体験が終わってから、各グループの活動場所へ移動
- 各活動場所には、差し込み色画用紙を置き、子どもが色画用紙の差し込みをして、場所を広く使えるようにする等
- セロハンテープ使うため、テープを切るための支援を行う ※安全上の配慮・支援をする